



研修で学んだ卓球バレー普及の様子



ジンバブエ「スポーツを通じた障害者の社会参加の促進」研修の促進

2018年9月～2019年12月

アフリカ・ジンバブエは健常者スポーツに積極的に取り組んできた国であり、サッカーはもちろん、ラグビー、ポロ、クリケット、ホッケーが盛んです。他方、障害者スポーツに関しては、ジンバブエ政府の障害者に対するスポーツ支援が少ないこともあり、障害者がスポーツ競技に参加する機会が限られている状況です。

こうした中、JICAはジンバブエの公共事業・労働・社会福祉省の職員をJICA課題別研修「スポーツを通じた障害者の社会参加の促進」に派遣しました。研修参加者は講義の聴講や視察を通じてスポーツを通じた障害者の社会参加の促進に関する技能や手法を学びました。帰国後研修参加者は、障害者用卓球（卓球バレー）、フリスビー、バルーン、ボール競技について障害者団体、学校に対し広報及び実技指導を行っています。

～活動や目指す成果～

障害者スポーツ指導者養成

ジンバブエでは、障害者スポーツが一般的でないため、指導者及び普及に関するノウハウが不足しています。指導者の育成を通じて、障害者がスポーツへアクセスできる機会を醸成します。

障害者スポーツの普及

東京パラリンピックを契機に、障害者スポーツが認知されるよう普及を目指します。

障害者スポーツを通してジンバブエ社会への認知度の向上

障害者スポーツの普及を通して、障害者の社会への関わりを広げ、認知度向上を目指します。